

誰もがいつまでも楽しめるニュースポーツ。このコーナーでは、さまざまなニュースポーツの魅力を紹介します。

今月のスポーツ テニポン

北海道様似町で誕生したテニポンは、テニスと卓球(ピンポン)を合わせた「だれでも、どこでも」が合言葉のニュースポーツで、冬でも体育館でできるように考案されました。

ルールはテニスやピンポンとよく似ていますが、テニスより短くて軽いラケットと、スポンジでできた軽いボールを使用します。



スポーツ推進委員

こじま いさお
児島 功 さん

運動量が多く、知らず知らずのうちに体力がつきますよ。



競技のここが楽しい!

ボールがスポンジでできているため、バウンドでスピードが緩み、ラリーを続けることができます。



初心者でも簡単に楽しくプレイできます。



問合せ スポーツ課 ☎ 382-9029 📠 382-9071



ひとまち・モータースポーツ

モータースポーツ専門番組
「レーシングスピリット」

ケーブルネット鈴鹿(CNS)で放送している「レーシングスピリット」は、モータースポーツを身近に感じていただこうと2009年に放送を開始し、今年で15年目となりました。

北勢地域にゆかりのある選手やチーム、メカニック、支える人たちに密着する人間ドキュメント番組で、プロの選手だけでなく、郵便局に勤めながら参戦する人、家族ぐるみで参戦する人、公道を使ったラリー競技を企画する団体など、取材対象はさまざまです。

特に記憶に残るシーンは、鈴鹿8耐を発案した故 藤井璋美さんのインタビューや、レーシングカーの開発に生涯を捧げた故 神谷誠二郎さんのお別れ会、取材当時小学生だったモトクロスしもたじょうの下田丈選手が12年後に本場の全米選手権で活躍しての凱旋帰国など、挙げればキリがありません。

次回12月16日(土)からの放送は、全日本トライアル選手権の最終戦に挑む、小川友幸選手おがわともゆきと氏川政哉選手うじかわせいやに密着します。ぜひご覧ください。



レーシングスピリットの動画はCNSコネクトから



■久志本和彦(株)ケーブルネット鈴鹿 地域情報部編成制作課課長

キーボード



大規模な災害が発生すると、避難所には年齢、性別、障がいやけがの有無に関係なく、さまざまな人が避難して集団生活を送ることになります。

避難所を運営する側は、避難スペースの割り当てや支援物資の分配方法など、限られた時間内で非常に多くの判断をする必要があります。

過去には、運営側の多くを男性が占めていたため、授乳スペースの確保や生理用品の分配など、判断に困ったことがあったようですが、女性が運営側に入るようになったことで、そのような課題も円滑に解決している例があるそうです。

今回の特集では、女性消防団員の皆さんを紹介しました。全国的に女性団員数は増えているそうですが、全体に占める女性の割合はまだまだ少ないのが実情です。防災の分野でも、性別問わず活躍する人がこれからも増えてほしいものですね。(由)